

3

社会の変化に対応した新たな市民生活・経済活動の基盤づくり ～アフターコロナウイルス～

約1億7千万円



▲サテライトオフィスのイメージ

■サテライトオフィスの開設を促進

事業継続計画やリモートワークなど新しい働き方に対応した首都圏企業の、本社機能の移転やサテライトオフィスを誘致。市内に開設する企業に最大500万円を支給します。

■ビジネスサポート事業補助金の拡充

長岡商工会議所などと共に、事業者の売上げの回復を支援する「ビジネスサポート事業」の二次募集を拡大して実施します。



▲製造現場の紙書類のデータ化も補助金の対象。(※長岡金型では紙書類の削減に加え、情報共有が図りやすくなり、作業効率も向上しています)

■IT・IoT設備投資支援補助金の拡充

別P8

デジタル技術を活用したビジネスの変革を進め、従来からのIT・IoT設備導入に対する支援の特別枠を新設します。

■デジタルビジネスイノベーション補助金 別P8

新たなビジネスニーズに対応するための市内事業者などのシステム導入や商品・サービス開発などを支援します。

■有望スタートアップ育成補助金

将来有望なビジネスモデルで、特定分野の事業展開に挑戦する起業家に補助金を交付。早期の事業化や企業の成長を支援します。

■行政ICT環境の推進

行政事務における感染リスクを低減するため、リモートワークやサテライトオフィス、ウェブ会議の環境を整備します。

ほか

■小・中学校の給食室冷房設備・スポットクーラーを整備

授業日数の確保に伴い夏季休業期間に学校給食を実施することから、調理員などの熱中症対策として冷房設備を整備します。

■市立学校の遠隔学習機能の強化

遠隔学習に対応するため、ウェブカメラとマイクを設置します。

■ひとり親世帯臨時特別給付事業 別P12

子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯を支援するため、臨時特別給付金を支給します。

ほか

その他の生活・教育支援

約5億2千万円

これまで補正予算で計上した生活・教育支援の合計額
約12億7千万円

2

第2波に備えた感染症対策の強化

約10億8千万円

これまで補正予算で計上した感染症対策の合計額
約12億3千万円

■市立学校などの温水設備を整備

園児・児童が手洗いを励行するため、市内の小学校・総合支援学校、市立保育園・幼稚園・認定こども園、児童館・児童クラブに自動水洗の温水設備を整備します。

■放課後児童クラブにエアコンを整備

児童の密集を防ぐため、児童が活動する部屋などにエアコンを設置します。

■校内消毒・清掃員の配置

全市立学校の校内の消毒作業や3密対策のため、児童・生徒による清掃が困難な玄関・トイレなどの掃除を行う清掃員を雇用します。

■市有施設の感染症対策を強化

アオーレ長岡、各コミュニティセンター、スポーツ施設などの市有施設に、非接触式体温計や衛生用品などを整備します。

■市立学校、児童クラブに衛生用品を配備

集団感染を回避するため、市立学校に非接触式体温計などを、全児童クラブに消毒液などの衛生用品を配備します。

■保育園や事業者などの衛生用品の調達を支援

認可保育園などの保育施設の、衛生用品の購入などを支援します。また、一般廃棄物収集運搬業者や障害児通所型福祉サービス事業所などに衛生用品を配布します。

■医療機関の感染症対策物品の購入などを支援

市内の診療所や病院に、感染症対策に必要な物品の購入や清掃費用などを支援します。

■避難場所などの備蓄品を整備

水害や地震などの自然災害と新型コロナウイルス感染症との複合災害に備えるため、避難場所などで使用する段ボールベッドや間仕切り、簡易トイレなどを整備します。

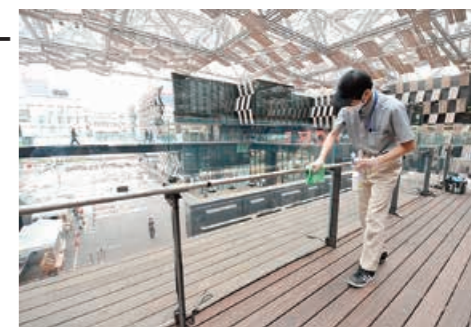
■避難時の消防・救急資材などを配備

救急車や救急資材などの除染装置や水害時における在宅避難者の救出用ボートなどを配備します。

ほか



▲新組小学校2年生の手洗いの様子



▲清掃スタッフにより定期的に共有スペースやドアノブ、手すりなどの消毒作業を行うアオーレ長岡



▲避難場所などに整備する段ボール製のベッド・間仕切りのイメージ。避難時の感染症対策を強化します